



キジバト

ハト科〈留鳥〉全長 33cm
街中でもよく見かけ、庭木や街路樹に枯れ枝を組み合わせた簡単な巣をつくる。首に青と白の縞模様がある。オスは繁殖期になると「デデ、ポーポー・・・」とゆっくりしたテンポで鳴く。



ドバト

ハト科〈飼育種〉全長 33cm
ヨーロッパ原産のカワラバトをレース用、伝書鳩、愛玩用などに品種改良したものが野生化。体色は個体差が大きい。橋桁や駅舎の隙間、マンションのベランダなどに営巣する。



カッコウ

カッコウ科〈夏鳥〉全長 35cm
高原の鳥のイメージがあるが、志木でも以前は繁殖の可能性があった。今でも渡りの途中には鳴き声が聞ける。カッコウ科の鳥は、他の鳥の巣に卵を産み育ててもらおう「托卵」という習性がある。【準絶滅危惧】



ワカケホンセイインコ

インコ科 外来種〈スリランカ原産〉
全長約 40cm
くちばしが赤く、全身緑色の大型のインコ。数羽から十数羽の集団で移動し、鳴き声も大きいので目立つ。ペットとして輸入されたものが野生化。特に都心では大群落が確認されており、志木でも群れが確認されている。